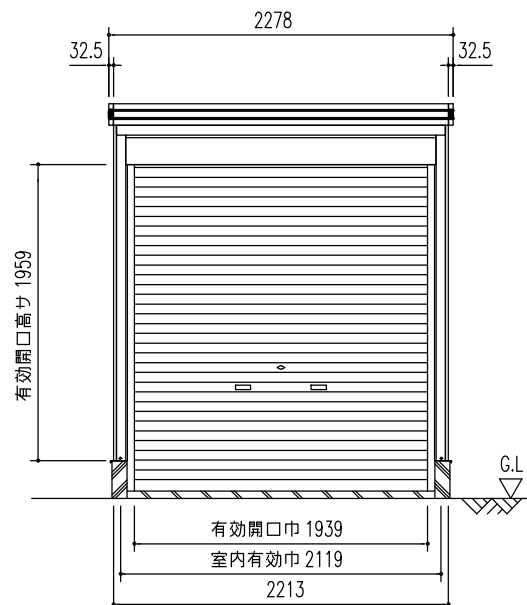
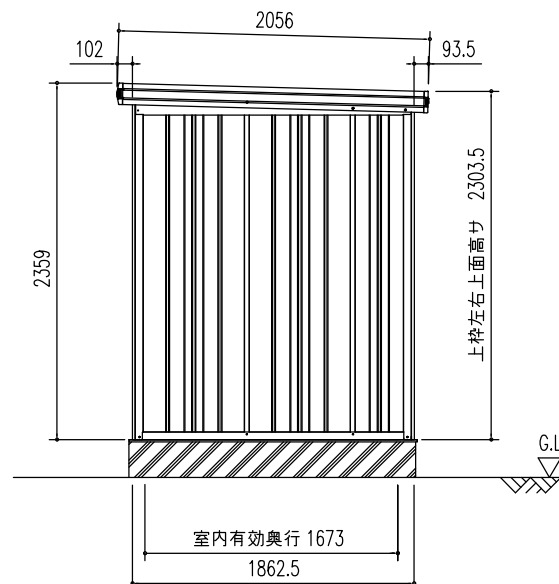
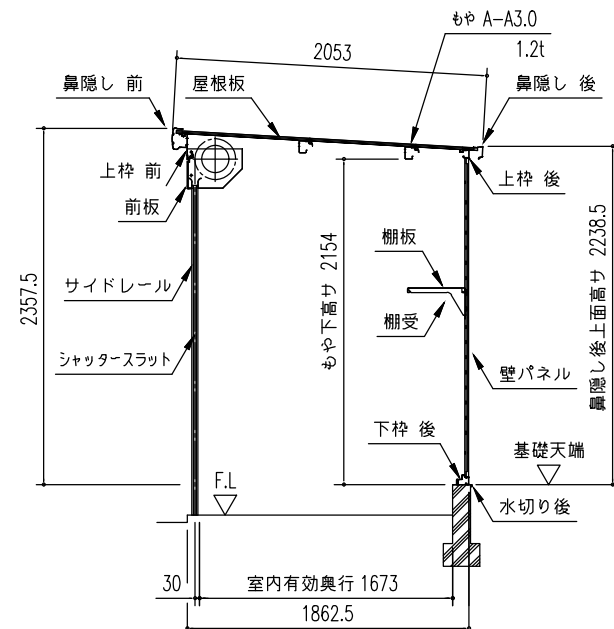




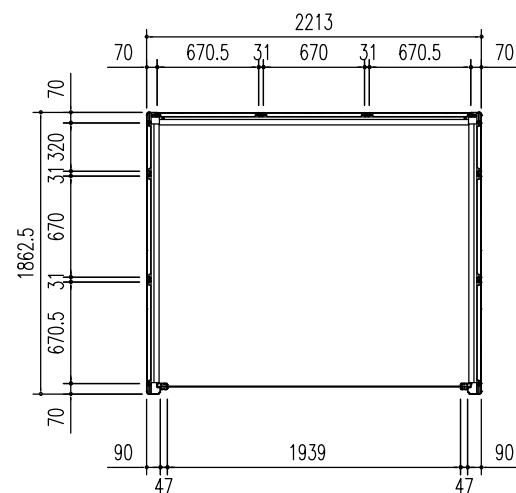
正 面 立 面 图 (S = 1/50)



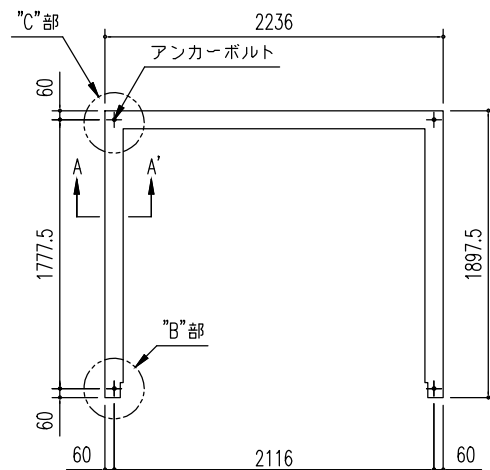
側面立面図 (S = 1/50)



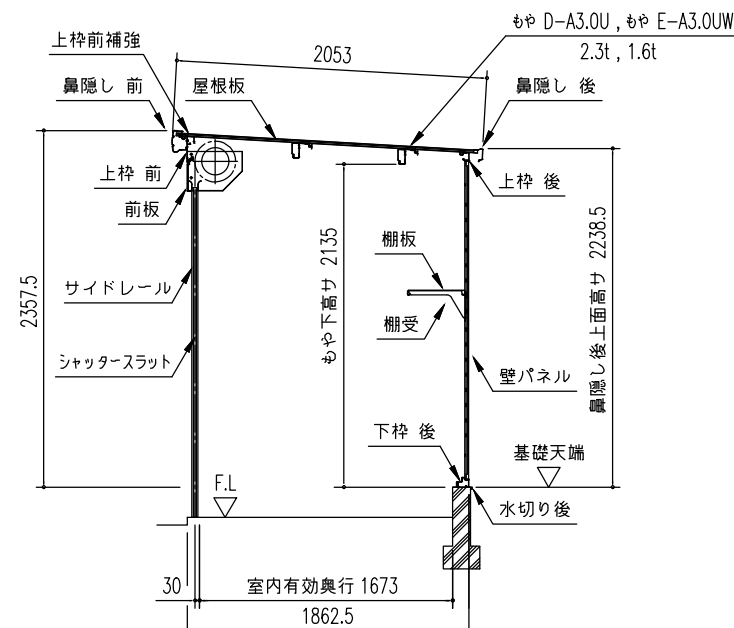
一般型矩計図 (S = 1/50)



平面図 (S = 1/50)



布基礎伏図 (S = 1/50)



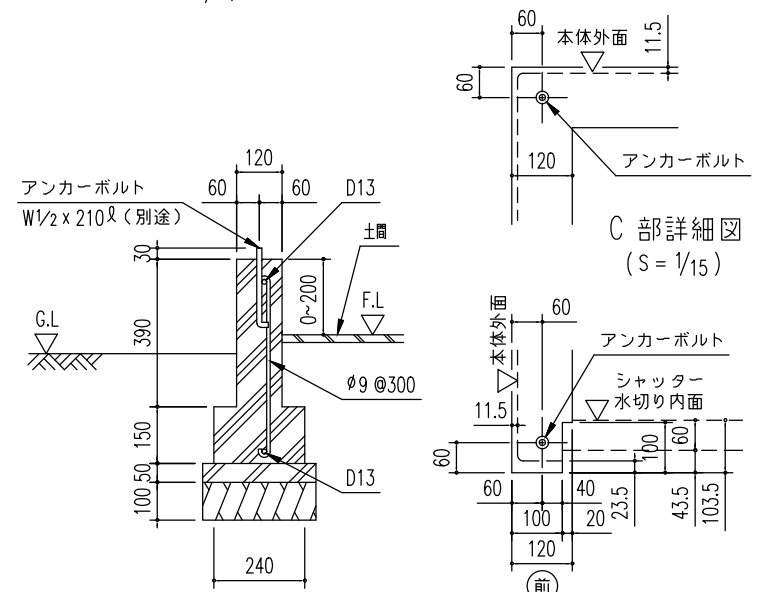
豪雪型矩計図 (S = 1/50)

部 材 名	厚さ(㎜)	材 質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型>もや A-A3.0	1.2	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<豪雪型>もや D-A3.0U	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<豪雪型>もや E-A3.0UW	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下 枠 側・後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 前 (後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠前補強 (豪雪型のみ)	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 左 右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (シートカラー)
鼻 隠 し 前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (シートカラー)
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前 板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター水切り	—	アルミニウム合金押出成形材
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間 柱 後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<一般型>間 柱 側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
<豪雪型>間 柱 側	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC

部 材 名	サイズ（巾×高さ）
壁パネル H-A	670 x 2110
壁パネル H-F	319.5 x 2110

< 参考 >

基礎は建設省告示第1347号に準じて設定しておりますが、
下記条件での参考図であり、現地の実情にあわせて設計して下さい。
(地耐力 50 kN/m^2 以上、コンクリート設計基準強度 18 N/mm^2 以上)
(基準風速 34 m/s 、地表面粗度区分 Ⅲ)



A ~ A' 断面
布基礎断面図例 (S = 1/20)

B 部詳細図
(S = 1/15)

- 注1) 地耐力が50kN/m²未満(30kN/m²以上)の場合、底盤幅を300mmとし、かつ補強筋を入れて下さい。
- 注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
- 注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。
- 注4) 土間仕上げ(F.L.)は、参考例です。
- 注5) 有効高さは、基礎高さを含みません。

名 称	ヨド物置 エルモシャッター <単棟型>	株式会社 ヨドコウ
機種名	LOD(U) -2218HD型 <1/1>	